

琉球大学学術リポジトリ

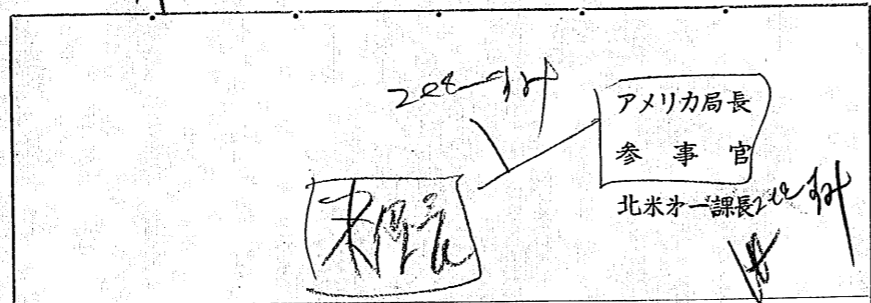
沖縄関係 沖縄返還協定調印式(3) (ロジスティックス、警備、プレス、写真)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43566

警
税
庁
と
り
打
合
せ

脚本
2/14

執
無期限



署名日当日の米側出席者警護
に関する警視庁の要望等
46. 6. 15
米北1.

6月15日 警視庁 山岸 警護課 課長補佐
往訪の際、先方より 署名日当日の警護に際

し次の点を確認 しくは、承知したいとして質問
すると共に、本件に関する担当者として 尾中正弘

警部 (同課 課長代理、アメリカ関係担当) と
紹介した。 (警護課長 同席)

記

5階。今までの話(けいこう)

15日午の米北1に夏の前で米北1に知らせたい

1. 当日の在京米大使館の連絡先
連絡等は北米1課を経由することとするか

大使館の
緊急時の連絡先及び担当者と事前に承知しておきたい。

2. 車列及び台数等

(1) 出席者は大使を含め 22名と承知しているか
(又は公邸)
大使館より官邸へは、1回となって行くのか
又は、何回かに分れるのか。警視庁としては、

1回となって行くよう要望する。(警備上の理由)

(2) 出発するのは大使館なのか、又は公邸なのか。
又、正門より出発するのか。

(3) 車は何台使用するのか。車の数は出来るだけ
少ない方が安全であるか。先方の都合がある

うと思われるので大使館に確認していただきたい。

3. ルート等

(1) 最短距離(三軒町経由)はデモの最も

激しい場所になるので、次のルートと警視庁は強く推す。

大使館 → 飯倉ランプ → 高速内回り → 芝ランプあり → Uターンして芝ランプあり

高速外回りに乗る → 霞ヶ関ランプをおりる →

左折して官邸へ直行。

(2) 外務大臣等 外務省より出発する人は 人事院前を通り、高速道路と並行して走る。

なお霞ヶ関ランプでは特に右折と認め官邸に直行させる。

4. 出発時間

米側の出発時間は 20分前と承知して

(所要時間は10分前後とする)

いづか、上記ルート案をとるのであれば 30分前にしていただきたいが 実際には当日の

デモ等の様子とみて、連絡と密にした上で、30分前頃に出発していただくことにしたい。

5. 署名式終了後

(1) 式終了後 愛知大臣・マイヤ大使合同記者

会見があるが、米側出席者は、マイヤ大使と共に官邸と出発するかどうか。

合同記者会見終了を待たずして出発する場合でも、警護体制及び警護車両手配等の理由が

ばらばらに出発することは避けたい。

(2) 帰路も、往路と同様霞ヶ関ランプより高速を利用し、~~芝ランプ~~ ~~飯倉ランプ~~

の方が便利であり、安全である。(デモは

式終了時の10時頃 ~~芝ランプ~~ ~~飯倉ランプ~~ かなり激しいと予想される。)

6. テモ等

統勢で 5万人 位とみえり、警視庁は全力

とあげて警備体制を組むが、^(イ) テモが官邸突入

及び (ロ) 341km と作戦と33見込みであること

交通マヒ等と十分考慮に入れたい。 ^{都庁}

(米側)の車の使用及び ルート の選択の際に ^{十分} 十分 説明して欲しい旨付言)

担当者

警視庁警備部警護課
課長代理

警視庁警視 尾中正弘

電話(五八二)四三二一
直通線三〇九二
一九五

高橋大使赴任の時期と関係
 同大使の赴任は、北米第一課
 長官の赴任と関係あり。
 アメリカ局長 参事官
 無期限

星正法院議長及び平田首席判事
 の上京に7112
 46.6.15
 米北一
 金子
 標記につき、琉球政府東京事務所(大蔵)所
 長に照会(電話)したところ、次のとおり。
 1. (なお、往復飛行便は別添のとおり。)
 東京事務所から所長及び総務課長が
 出迎えに赴く。(事務所の公用車)
 先着の平田判事は、右の2名が出迎え。
 総務課長が、宿舎のハリスホテルまで
 案内する。所長はその後残り、後着の
 星議長と出迎え、宿舎の赤坂車急ホテル
 まで案内する。
 2. 到着する16日は、その日、宿舎で過す予定

6/18
 米北一
 金子

2. 高橋が、式典当日の予定は今のところ、把握
 しておらず、明日(16日)琉球政府に
 連絡をとるつもりである。
 3. 高橋が、当日の予定は、
 当日と緊密な連絡をとるから決まらぬ
 に、必ずしも伝えない。そうする旨
 先方は知らせた。(高橋の東京でのスケジ
 ュールは、当日に伝えることになってい
 る。)
 (金子早急)
 4. なお、本日、警察庁で開催された警備
 (米側)関係会議(外務省、警察庁、
 警視庁、在京米大使出席)において、佐藤
 席上、上記の警備関係につき
 協力をお願いする。警察庁は、次の

とあり 運輸課に付した。

(a) 両氏の airport での security
は空港署, 宿泊所での security

は所轄署⁷²が担当する。

(b) airport から hotel までの護衛し

た。

(c) 所轄署の警備の程度は警備⁷²

待機^{12と2420}するに⁷²なるとある。

(d) 寸場への出発は hotel からでなく,

事務所(平河町)からの上へという。

総番 30007

6月15日 17時22分 沖 堀 靴 /
17時23分

外務大臣 高瀬大使

星議長及び平夕首席判事の東京日程

第619号 平 至急 (ゆう先処理)

往電第612号及び同第616号に関し
星議長及び平夕首席判事の東京日程次の通り。

1. 星議長

16日 1655 JL906 ナハ発 17:19

20日 1030 NW001 同帰着
しゆくしや アカサカ東急ホテル

2. 平夕首席判事

16日 1550 NW006 ナハ発 18:10

19日 1120 JL905 同帰着
しゆくしや パレス・ホテル

(了)

00

アメリカ局長
参事官
北米第一課長

執
無期限

ランポート高等弁務官及「ミス」大佐
の上京日程

46. 6. 15

米北一
金子

16日午前 10:50 準備室岡野書記官への
の電話とそれ後ランポート高等弁務官及

「ミス」大佐の上京日程次のとおり。

16日(水)

13:30 カテナ発
(雇用機)

17:00 横田着

17:15 ハーティ・ハズ・クズ到着
(ヘリコプター)

18日(金)

16:45 H.B 発

17:00 横田発

20:30 那覇着

写

外 務 省

機令第1318号

昭和46年6月17日

北米

外務大臣官房機令官

在琉球諸島米國高等弁務官に
対する便宜供与依頼について

下記来訪者の出入国に際し、出入国、通関及
び検疫手続きならびに送迎者の立入りにつきよ
ろしく便宜供与方お取り計らい願います。

記

1. 氏名(官職)

Lt. Gen. James B. Lampert

(在琉球諸島米國高等弁務官)

他/名

外 務 省

2. 来日目的

沖縄返還協定調印式に出席のため

3. 着発日時及び搭乗機名

6月16日(水)17時00分横田着 米軍用機

6月18日(金)17時00分 同発 同上

4. 送迎者

在京同国大使館代表他

本信送付先 東京入国管理事務所立川出張所長
東京税関立川出張所長